

		初期		前期		中期		後期		
		小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
布野中学校区が目指す資質・能力を身につけるための探究活動		なつが やってきた	うごくうごくわたしのおもちゃ	布野のアスパラガス～アスパラガス作りをしよう～	布野と中村憲吉～長江小と交流しよう～	布野米のおいしさのひみつをたくさんの人に広めよう	銀山街道調査探検隊	グッドタウン布野	職場体験学習	地域・社会のために役立つことを実践しよう
布野中学校区が育成を目指す資質・能力	知識及び技能	生きて働く知識と技能	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。	実際に体験したり、本などで調べたりしながら課題解決のために必要な知識及び技能を獲得している。	体験や調べ学習を通して得られた情報を取捨選択したり、既習知識と結び付けたりしながら、課題の解決に活用できる知識及び技能を獲得している。	体験や調べ学習を通して得られた情報を取捨選択したり、既習知識と結び付けたりしながら、地域や自らの生活に関わる課題の解決に活用できる知識及び技能を獲得している。		課題を解決するために必要な知識・技能を連続して活用することで、課題に関わる概念を形成し、社会の中で生きて働く汎用可能な知識及び技能を獲得している。		
		取組	探究的な学習を遂行していく中で、課題の解決に必要な知識・技能を獲得し、活用させる。	探究的な学習の過程を意識した単元を仕組むことで、体験を重視して体感的に学ばせる。	探究的な学習の過程を連続させる単元を仕組むことで、繰り返し知識・技能を活用させる。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、新たに見出した地域や自らの生活に関わる課題の解決に活用させる。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、社会全体が考えて解決していくべき課題の解決に活用させる。			
	思考力、判断力、表現力等	調整力	自分と他者の意見をつなげて考えたり、お互いの意見を調整することができる。	お互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて感想を返すことができる。	目的や進め方を確認しながら、役割を意識して話し合い、お互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることができる。	お互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合い、発言を結び付けたりそこから考えを広げたりしてまとめることができる。	自分の意見と相手の意見について、意見の根拠となっている資料や現象に目を向けながら比較したり共通点を見いだしたりすることで、自分の考えを見直したり、新たな視点を見出したりしている。			
		取組	意見交流の際、自分の意見と他者の意見を比較させたり、共通点を見出させたりする。	国語科を中心に話し合う際の視点や話型を指導する。	役割を決めて話し合う練習を行う際、「比べる・まとめる」の視点をもとに、意見交流に目的を持たせて取りくませる。	役割を決めて話し合う練習を行う際、「比べる・まとめる・広げる」の視点をもとに、意見交流に目的を持たせて取りくませる。	意見交流を行う際、それぞれの意見の結論だけに注目するのではなく、その意見の根拠となる資料や現象をふまえて系統的に整理させる。			
	主体性	学びに向かう力、人間性等	自分の良さや弱点を明らかにして、何を伸ばし、何を克服するのか判断し、見通しを立てて計画的に取り組もうとしている。	やりたいことを見つけ、どうやったら実現できるか考えながら主体的に学習に取り組むことができる。	目的に対して、探究的な学習の方法を意識しながら、主体的・協動的に学習に取り組むことができる。	目的を明確にして、探究的な見方・考え方を働かせながら、主体的・協動的に学習に取り組むことができる。	自分が取り組むべきことを明らかにし、見通しを持って自分なりに納得できるまで探究をし続けようとしている。			
		取組	自分を伸ばさせるため、目標の達成に向けて、見通しをもたせ活動に取り組ませる。	導入を工夫し多様な興味を持てるようにすることで、進んで授業に取り組めるような単元を設定する。	探究的な学習（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を意識させながら自分たちで考え、協力して取り組めるような授業づくりをする。	探究的な学習に取り組む際、児童生徒が様々な選択肢や取組方法から選べるよう、幅をもたせた単元設定や授業づくりを行う。	自分が取り組むべき内容を確認し、そのために必要な活動を考えさせる。また、必要に応じて活動計画を見直させる。			
		めざす姿	探究的な課題に協働的に取り組む中で、自分の特性に気づき、自分が社会にどのように関わっていきたいのかを考えようとしている。	学習を通して、自分ができるようになったことや頑張ったことなどを振り返ることで、達成感を味わうことができる。	学習に主体的に取り組む、自分ができるようになったことや頑張ったことについて根拠を明確にして振り返ることで、達成感と自身の成長を味わい感じることができる。	学習に主体的・協働的に取り組み、自分が学習を通してどのような力をつけたのかを実感するとともに、他者や地域と関わることのよさに気づき、社会に参画しようとする意欲や心情をもつことができる。	自己の存在や行った活動が他者の喜びとなることを実感し、自分がこれからどのように社会に関わっていくのかを考えようとしている。			
	取組	自己評価や他者評価を基に自己を認識し、キャリアについて考える機会をもちける。	授業の振り返りを活用し、できるようになったことを明確にさせるとともに、友達同士でよさを伝え合う場面を設ける。	単元や授業で付けさせたい資質・能力を明確にして提示し、単元や授業を通してどのような資質・能力が身についたのかメタ認知させる。	単元や授業で付けさせたい資質・能力を明確にして提示し、単元や授業を通してどのような資質・能力が身についたのかメタ認知させるとともに、地域・社会に対して発信させる機会を積極的に設けるようにする。	自分の将来について、自らの特性やこれまでの経験をふまえて考え、表現して交流させる。				
	学習指導	振り返り	自分の学習を振り返って、学習改善につなげることができる。	自分の学習を振り返り、自分や友達の頑張ったことやよかったことなどを伝え合うことができる。	自分の学習を振り返り、自分の成長したところや友達のよかったところを認め合うとともに、次の課題を考えることができる。	自分が立てた学習計画や学習内容を振り返り、自身の成長を具体的に実感したり、友達の成長を自分の成長に繋げようとしたりするとともに、次の課題を明確にしたり、学習計画を見直そうとしたりすることができる。	自分で学習計画を立て、学習活動の途中にこれまでの学習内容を振り返ることで、自他の成長や課題に気づき、目標の達成に向けて、学習計画を見直すことができる。			
	生徒指導	規範意識	決まりを守り、他者を尊重し、協働することができる。	決まりやルールを守ることができる。	自分や周りの人が気持ちよく過ごすために決まりやルールがあることに気付くことができる。	決まりを守ることの意義を理解し、時や場所、立場を自分で考えて行動することができる。	決まりを守ることの意義を理解し、他者を尊重し、目標の達成に向けて、協働することができる。			
健康体力	キャンパスコンソートメニュー	規則正しい生活をし、QOLを向上させることができる。	家庭学習を定着させるとともに、早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付ける。	自分の課題を見つけ、学習・基本的な生活習慣のさらなる定着を図り、運動の習慣も身に付ける。	学習時間・学習内容・運動の習慣を自分で考え調整できるとともに、工夫し改善に取り組む習慣を身に付ける。	すべての生活習慣において、自身でコントロールし、より良い生活習慣を築いていくことができる。				